

「富士を仰ぐ」



歌川広重
「富士三十六景 さがみ川」

大判錦絵揃物の内
安政5年(1858年)

日本を象徴する霊峰富士。富士を描く作品は、古来数多くありますが、本展では歌川広重最晩年のシリーズ「富士三十六景」を全点そろいで展示します。

江戸に住まう人々の生活の中に、自然に溶け込んでいる富士山の姿を叙情的にとらえた、いかにも広重らしい作品です。

左の図版は、その昔「戸田の渡し」と呼ばれていた辺りを描いたものと思われます。材木をいかに組んで運んでいる様子ですが、煙が上がっているのは、長旅のため船頭がいかだの上で煮炊きをしているものといわれています。

この図は、V・ゴッホが「タンギー爺さん」の背景に描き込んでいます。

会期: 2月8日(木) ~ 3月11日(日)

山本芳翠 郷土が生んだ偉大な画人 展と同時開催
この展覧会の期間中、市民は観覧無料です

毎週月曜日(祝日を除く)

祝日の翌日(土日・祝日を除く) 休館

次号は2月15日号
発行日は2月15日(木)です

広報えな No.52

2007年(平成19年)2月1日発行

発行 恵那市役所

編集 まちづくり推進課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

今月の表紙



—昨年12月にオープンした、恵那スケート場で1月14日、当初の見込みから10カ月早く、累計来場者数が10万人を達成し、記念セレモニーが行われました。10万人目の来場者となったのは、中津川市出身で愛知県岩倉市の会社員伊藤章能さんの長男広起君。広起君は、両親と双子の詩織ちゃんと一緒に、初めてスケート場を訪れました。セレモニーで、可知市長が記念のスケート靴2足と無料利用券10枚を渡すと、広起君、詩織ちゃんは、多くの人を前に少し照れながら受け取りました。